

OXFORD

大学生になって留学に行くことは一つの目標だった。大学受験や G コード科目で英語を頑張った人にはぜひ英語圏の語学研修をお勧めしたい。私がオックスフォード大学のショートプログラムを選んだ理由は英語圏というほかに、常に歴史の先駆けになっていた欧州の伝統や雰囲気を感じたかったことがある、そして何よりも「大学の最高峰」を体験することができるという期待があった。

オックスフォード大学は一つの巨大なキャンパスがあるわけではない。大学都市：オックスフォード市にある 39 のカレッジやそのほかの教育施設の総称というイメージである。Oxford のシンボル、ラドクリフカメラやあの「ホグワーツ」のロケ地にもなっている荘厳な図書館のすぐ隣にあるのが、このプログラムで訪れる、ハートフォードカレッジである。

学習・活動について

平日は英語の授業、休日は自由行動がメインになっている。

1 週目の金曜日は全員でロンドンに行き、ナショナルギャラリー・大英博物館を回った。この日の行先は年によって異なるので楽しみの一つになると思う。

授業はプログラム参加者を 3 つの班に分け、それぞれの班にオックスフォード大学の先生が付き、もちろん英語のみで行われる。スピーキングは日本でする機会が少ない分、力を付けられるはずだ。内容はイングランドの多様な文化に関するものが多かった、食・絵画・芸術・日常・音楽 etc. 音楽に関してはちょうど「ボヘミアンラブソディー」がヒットしていたので大いに盛り上がった。その他、街に繰り出す散策型授業もある。

先生によっては宿題を結構出していたが、私のクラスは「おしゃべりクラス（たぶん）」だったのでペーパーの宿題は無かった。どのクラスに入るかは初日の小テスト & 小面接で決まる。

課外活動

毎晩、夕食が終わると RA(Hertford College Residential Advisors)と呼ばれる現地の学生が用意してくれたレクリエーションをする。Karaoke・アイスクリーム・クイズ・ラグビーetc. 英語を実践する場にもなり、何より楽しかった。

1日のスケジュール

朝食（8時）→2コマ授業→昼食→2コマ授業→夕飯→レクリエーション

大体このようになっている。それぞれの間はゆとりがあり、存分に学び、オックスフォードを堪能できる。ティータイム等もある。

休日は完全フリーで朝食と夕食は用意されている。

印象に残っていること

オックスフォードでの学びやその街並みはとても刺激的だった。そこで生活できた事自体が大きな財産になっている。Oxford と Harry Potter の二大看板で観光地としても楽しめた。また休日をどれだけ楽しめるかがこのプログラムの醍醐味だと思う。行先については、安全上問題がないか、ハートフォードカレッジの職員に確認を取ったうえで、国境を越えなければ本当に自由に 2 日間かけて遠出するもよし、私の場合はロンドンとオックスフォード近郊の城を観光できた。EU 離脱反対の一千万人規模のデモに遭遇して計画がご破算したのも今では良い思い出になっている。

研修参加を勧める理由

以上を読んでいただいたように、このプログラムは本当に楽しいことと学びが詰まっている。また他の参加者とは、2 週間も異国の地で共に過ごす過程でとても仲良くなる。大学における交友関係が広がるのも語学研修の良さである。この度は 2 年以上経っての執筆になったが、それだけに自信を持って勧めたい。「オックスフォード」で体験できたすべてが今の自分の大きな財産になっている。ぜひ参加した際にはアクティブに動き回って知見を広めていただきたい。

